

清流・清風・清香・清人

令和4年10月7日

文責 山下 勇

伊藤義務教育指導監、清水小・清水中を訪問

9月28日(水)、伊藤義務教育指導監による2回目の学校訪問(清水小学校、清水中学校)が行われました。今回は、授業参観を通して教育活動の実態(教師の指導の在り方や子どもの学びの様子)を見て、授業改善への指導・助言や、校長と教頭から学校経営について説明(課題解決に向けての取組や進捗状況等)し、学校経営の改善策について指導・助言していただくことが目的です。

校長や教頭としての学校経営改善の方策や組織強化、指導力のある教師の育成等について、具体的な指導・助言をいただきました。改めて、管理職としての役割や覚悟をもっての対応、自走する組織づくり、新たな教育を推進できる教師の育成に早急に取り組んでいかなければならないことを確認しました。また、全教職員が、学校課題等を「自分事」として捉え、「スピード感とピリット感」をもって取り組んでいくことがポイントであることがわかりました。

あと6か月間、目指す学校像、教師像、子ども像の実現に向けて意欲と情熱を攻めの姿勢で取り組んでほしいと思います。

台中市の清水国民小学校と清水小学校、御影小学校が外国語(英語)で国際交流しました

昨年度から姉妹校締結を目指して交流を深める覚書を交わした台中市の清水国民小学校(高学年)と本町の清水小学校・御影小学校(6年生)による「国際交流事業」をオンラインで実施しています。今年度の1回目は、9/28御影小学校、9/30清水小学校で実施しました。各校の子どもたちは、外国語の学習で身に付けた英語力を使いながら、自己紹介や街の紹介、クイズやジャンケンゲームなどで、楽しく交流しました。今回も英語指導助手(トレバー、アシュリー)や英語指導講師(棚田)のサポートを受け、スムーズに交流することができました。

交流後の子どもたちの感想は、「楽しかった」「次の交流が楽しみ」など、達成感や充実感を得た様子でした。次回も内容の工夫や全員参加のもと、楽しく交流し、学習できるように、しっかり準備していきたいと思います。

